

グローバル・アグリカルチャー&フード株式ファンド

設定日：2022年7月29日

償還日：無期限

決算日：原則、毎年7月26日

収益分配：決算日毎

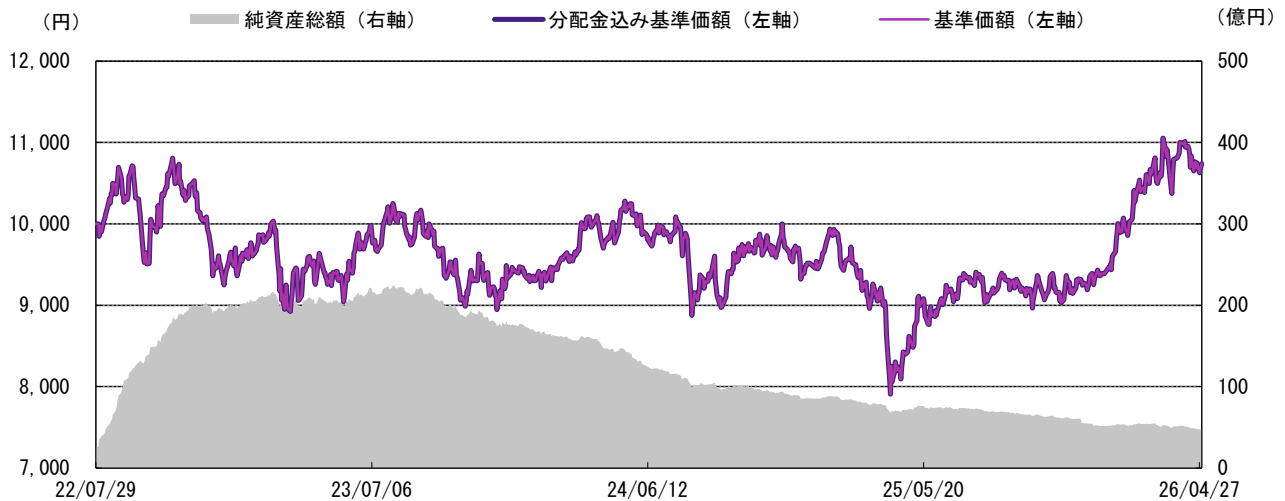
基準価額：10,740円

純資産総額：47.67億円

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

運用実績

<基準価額の推移グラフ>



※分配金込み基準価額の推移は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものととして計算した理論上のものである点にご留意ください。

※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。

<資産構成比>

株式	96.0%
うち先物	0.0%
現金その他	4.0%

※マザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率で、対純資産総額比です。

※「株式」には、不動産投資信託証券、預託証券などの数値を含めて表示しています。

<基準価額騰落の要因分解>

前月末基準価額	10,821円
要 株式	-162円
為替など	99円
因 分配金・その他	-17円
当月末基準価額	10,740円

※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

<分配金実績（税引前）>

分配金合計	23・7・26	24・7・26	25・7・28		
0円	0円	0円	0円		

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

<基準価額の騰落率>

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
-0.75%	7.10%	17.25%	27.52%	15.26%	7.40%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したものととして計算した理論上のものにご留意ください。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



ポートフォリオの内容 ※下記データはマザーファンドの状況です。比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

<通貨別組入上位10通貨>

通貨	比率
アメリカドル	53.3%
日本円	7.6%
ノルウェークローネ	6.8%
カナダドル	6.8%
ユーロ	6.3%
中国元	4.7%
香港ドル	4.2%
サウジアラビアリアル	2.5%
イギリスポンド	2.0%
スイスフラン	1.5%

<国・地域別組入上位10カ国>

国・地域名	比率
アメリカ	45.2%
スイス	7.7%
日本	7.6%
カナダ	6.8%
ノルウェー	5.9%
中国	4.7%
ケイマン諸島	4.2%
オランダ	3.3%
ドイツ	2.6%
サウジアラビア	2.5%

<業種別組入上位10業種>

業種	比率
食品・飲料・タバコ	46.3%
素材	31.1%
資本財	16.0%
商業・専門サービス	2.3%
ヘルスケア機器・サービス	0.8%
医薬品・バイオテクノロジー	0.6%

<組入上位10銘柄> (銘柄数: 42銘柄)

	銘柄名	通貨	国・地域名	業種	比率
1	ARCHER-DANIELS-MIDLAND CO	アメリカドル	アメリカ	食品・飲料・タバコ	9.4%
2	CORTEVA INC	アメリカドル	アメリカ	素材	7.6%
3	CF INDUSTRIES HOLDINGS INC	アメリカドル	アメリカ	素材	7.1%
4	BUNGE GLOBAL SA	アメリカドル	スイス	食品・飲料・タバコ	5.5%
5	NUTRIEN LTD	カナダドル	カナダ	素材	5.1%
6	DEERE & CO	アメリカドル	アメリカ	資本財	4.5%
7	WH GROUP LTD	香港ドル	ケイマン諸島	食品・飲料・タバコ	4.2%
8	クボタ	日本円	日本	資本財	4.0%
9	DARLING INGREDIENTS INC	アメリカドル	アメリカ	食品・飲料・タバコ	3.7%
10	INGREDION INC	アメリカドル	アメリカ	食品・飲料・タバコ	2.8%

※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。

※上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

米国株式市場は、前月末と比べて上昇しました。米国とイランとの間で和平協議が実施され、中東情勢の緊張緩和への期待が一時高まったことや、米国の雇用統計で非農業部門雇用者数が市場予想を上回ったこと、半導体関連をはじめ主要企業の決算内容が総じて良好となったことなどから、株価は上昇しました。

欧州株式市場は、前月末と比べて総じて上昇しました。前半は、米国とイランとの間で和平協議が実施され、中東情勢の緊張緩和への期待が高まったことなどから、株価は総じて上昇しました。後半は、中東での戦闘再開への懸念から原油価格が上昇し、インフレ長期化への警戒感から欧州中央銀行（ECB）による利上げ観測が高まったことなどから、株価は総じて下落しました。

4月の国内株式市場は、東証株価指数（TOPIX）が前月末比プラス6.56%となりました。米国とイランとの間で和平協議が実施され、中東情勢の緊張緩和への期待が一時高まったことや、半導体関連をはじめ主要企業の決算内容が総じて良好となったこと、また緩やかな金融環境が維持されたことなどから、国内株式市場は上昇しました。

◎運用概況

4月は米国とイランが停戦に合意したことや、ハイテク関連企業の決算が良好な結果となったことなどを受けて、世界各国の株式市場は軒並み堅調に推移しました。

当月の穀物価格は、大豆、トウモロコシ、小麦のいずれも若干上昇しました。穀物市場は、足元の需給よりも、肥料供給の逼迫を背景とした将来的な生産リスクが意識される展開となりました。ホルムズ海峡を経由する肥料および原料の物流が制約され、窒素肥料を中心に国際的な供給不安が高まりました。もともと、4月時点では北半球の主要産地で、既に肥料の調達が進んでいる作付けが多かったことから、当年産穀物の需給への影響は限定的と市場では受け止められました。その結果、主要穀物価格は比較的落ち着いた推移となりました。

農業関連企業の株価については、「フード・エボリューション」と「再生力のある経済」はプラスに寄与したものの、「農業イノベーション」はマイナスに影響しました。

◎今後の見通し

肥料関連では、湾岸地域が主要供給地である尿素を中心に上昇しました。食料価格全体の上昇は限定的とみられるものの、肥料価格の上昇により、農家の負担はかなり重くなる可能性があります。中東情勢が依然混迷を深めている状況にあることから、引き続きアグリ関連株については、その情勢に左右される展開が続くものと予想しています。

引き続き、当戦略にとって不透明な状況が続くことが予想されますが、農業と食料関連株式に対する長期的な見通しは明るいとの見方に変わりはありません。増加する人口に食料を供給するための解決策が必要であり、政府や企業、消費者の意識が高まるなか、益々重要な課題になると考えます。農業・食料システムの改善に向けた我々の見方に変わりはなく、農業の重要性を考えれば、農業・食料分野におけるイノベーションは続くものと期待しています。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



ご参考情報

※「組入上位10銘柄の銘柄概要」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。
 ※記載の内容は、ラザード社等による作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。
 ※「投資カテゴリー別比率」及び「規模別構成比率」の比率は、組入有価証券評価額の合計を100%として計算したものです。

<組入上位10銘柄の銘柄概要>

1 ARCHER-DANIELS-MIDLAND CO / アーチャー・ダニエルズ・ミッドランド	フード・エボリューション
アーチャー・ダニエルズ・ミッドランドは、農産物の調達、輸送、備蓄、販売に従事。油脂用種子、とうもろこし、マイロ、オート麦、大麦、ピーナッツ、小麦などの加工処理や、食料および飼料を最終用途とする作物の加工も手掛ける。	
2 CORTEVA INC / コルテバ	農業イノベーション
コルテバは農産物会社。種子、作物保護製品のほか、ソフトウエアソリューション、デジタルサービスを提供する。世界各地で事業を展開。	
3 CF INDUSTRIES HOLDINGS INC / CFインダストリーズ・ホールディングス	農業イノベーション
CFインダストリーズ・ホールディングスは肥料メーカー。窒素肥料やリン酸塩肥料を製造し、世界的に販売する。アンモニア、尿素、尿素硝酸アンモニア、硝酸アンモニア、ディーゼル排気液、アンモニア水を製造。	
4 BUNGE GLOBAL SA / ブンゲ・グローバル	フード・エボリューション
ブンゲ・グローバルは、グローバルな農業関連ビジネス及び食品会社。家畜飼料用のタンパク質ミールと商業顧客向けの食用油製品の製造に用いる油糧種子と穀物の買付け、販売、貯蔵、輸送、加工を手掛ける。砂糖キビからの砂糖・エタノールの製造等にも従事。	
5 NUTRIEN LTD / ニュートリエン	農業イノベーション
ニュートリエンは肥料メーカー。農作物用肥料およびサービスを提供。農業・工業・飼料業者向けにカリ・窒素・リン酸塩製品の製造および販売を手掛ける。世界各地の農業向けに事業を展開。	
6 DEERE & CO / ディア	農業イノベーション
ディアは農機具メーカー。農業、建設・林業、商業、消費者を対象に各種機械の製造・販売を手掛ける。自社製品及び他社製品の交換部品も供給する。製品・部品を対象とするファイナンス・サービスも手掛ける。世界各国でサービスと製品を提供。	
7 WH GROUP LTD / WHグループ	フード・エボリューション
WHグループは子会社を通じて食肉加工サービスや、冷蔵肉・肉製品・その他関連製品を提供する世界最大級の豚肉食品会社。北米、中国、欧州で事業を展開。	
8 クボタ	農業イノベーション
クボタは日本国内最大級の農業機械メーカー。世界各国で人々の食を支える農業ソリューション、安全な水を届け再生する水環境ソリューション、快適な生活や産業を支える環境ソリューションと幅広く事業を展開。	
9 DARLING INGREDIENTS INC / ダーリン・イングレディエーツ	再生力のある経済
ダーリン・イングレディエーツは、家畜処理時にできる副産物やレストランの調理油の再生利用に従事。レストランを対象に、油のろ過・回収サービスを提供するほか、これらを加工処理して、獣脂、肉骨粉、飼料用油脂などの製品として米国及び海外で販売する。	
10 INGREDION INC / イングレディオ	フード・エボリューション
イングレディオは甘味料、でんぷん、栄養成分、バイオ素材などを製造する原料メーカー。世界約120カ国以上に顧客を有し、同社の製造する原料は食品や飲料から、製紙、医薬品など、日常生活に使用される様々な製品に活用されている。	

<投資カテゴリー別比率>

投資カテゴリー	比率
フード・エボリューション	52.7%
農業イノベーション	43.6%
再生力のある経済	3.8%

※「投資カテゴリー」はラザード社が考える分類です。
 ※今後変更となる場合があります。

<規模別構成比率>

時価総額	比率
超大型株（500億米ドル以上）	15.1%
大型株（100億米ドル以上500億米ドル未満）	60.3%
中型株（20億米ドル以上100億米ドル未満）	22.5%
小型株（20億米ドル未満）	2.2%

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



ファンドの特色

1

主に、世界的上場株式の中から、農業(アグリカルチャー)や食料(フード)などに関連するビジネスを行なう企業の株式*に投資します。

*預託証券を含みます。

- 農業や食料などに関連するビジネスを行なう企業には、温暖化や食料難などの課題解決に資する技術、製品を提供する企業を含みます。
- 外貨建資産への投資にあたっては、原則として、為替ヘッジは行ないません。

2

銘柄選定は、株式のアクティブ運用に注力するラザード社が、徹底した調査に基づき行ないます。

- 株式運用に強みを持つ米国の資産運用会社、ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー(ラザード社)が、マザーファンドの運用を行ないます。

3

年1回、決算を行ないます。

- 毎年7月26日(休業日の場合は翌営業日)を決算日とします。
- ※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



■お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	無期限（2022年7月29日設定）
決算日	毎年7月26日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度（NISA）の適用対象となります。 ※当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

■手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料 購入時の基準価額に対し3.3%（税抜3%）以内

※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※購入時手数料は、商品および関連する投資環境の説明や情報提供など、ならびに購入に関する事務コストの対価です。

換金手数料 ありません。

信託財産留保額 ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用>

運用管理費用（信託報酬） ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.8205%（税抜1.655%）

その他の費用・手数料

目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用、運用において利用する指数の標章使用料などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息などが、その都度、信託財産から支払われます。

※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

委託会社	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
投資顧問会社	ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

〔ホームページ〕 www.amova-am.com

〔コールセンター〕 0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

■お申込みに際しての留意事項**○リスク情報**

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク

- ・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・新興国の株式は先進国の株式に比べて、また中小型株式は株式市場全体の平均に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

流動性リスク

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の株式は先進国の株式に比べて、また中小型株式は株式市場全体の平均に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

信用リスク

- ・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

為替変動リスク

- ・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- ・一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

カントリー・リスク

- ・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

○その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・アグリカルチャー&フード株式ファンド」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は **アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社**
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
 加入協会：一般社団法人資産運用業協会

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号	○	○		
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長（登金）第633号	○			
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券 ※右の他に一般社団法人日本STO協会、 ※右の他に一般社団法人日本暗号資産等取引業協会、 ※右の他に日本商品先物取引協会にも加入	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○	○	○	○
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券) (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○		○	
香川証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長（金商）第3号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
 ※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。